（様式第2号）

SDGs達成に向けた具体的な取組チェックシート

記載日： 2024 年 5 月 14 日

事業者名	エシカルバンブー株式会社

	分類	チェック項目	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	非該当	具体的な取組（事業者が記載する欄） ※国、市町村等の認証・認定等取得している場合は、その旨も記載してください。	主なSDGs（17のゴール及びターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	**【差別の禁止】** ・性別、年齢、人種、出身、障害などによる差別がないことを確認している	●			・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で差別しない体制が構築されている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		**【ハラスメント禁止】** ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	●			・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1 16.2 16.7	
3		**【ワークライフバランス・労働時間】** ・働き方の見直し等により、長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るワークライフバランスを推進している	●			・労働基準法等の改正内容を経営者を含め共有している。 ・長時間労働防止のための時間管理、多様な働き方を許容する勤務体制の整備・対応を行っている。								8.5 8.8									
4		**【外国人労働者】** ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	●			・現在外国人労働者を雇用していないが、雇用条件における差別はない。	1.2			4.4				8.5 8.8		10.2 10.3							
5		**【労働安全衛生】** ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	●			・適時 施設・作業環境の確認、改善を行っている。 ・ヒヤリ・ハット事例を社内で共有している。			3.9			6.2		8.8									
6		**【メンタルヘルス】** ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	●			・思いやり、労わりあう働き手の輪を育てることを目標に掲げ、一人一人が心地よく働ける環境・雰囲気づくりに取り組んでいる。 ・不完全就業に関する就労規則があり、本人の調子・事情により柔軟な勤務体制の対応を行っている。			3.4					8.5									
7		**【ダイバーシティ経営の促進】** ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	●			・多様な立場の人材が、各人のスキル・特性にあった作業ができるような人員配置にしている、又は作業環境の改善を図っている。 ・年次・適時 面談を設け、スキルやキャリアに関する相談がしやすい環境を提供している。				4.4 4.5	5.1 5.5			8.5 8.8		10.2 10.3							
8		**【健康経営】** ・従業員への健康投資による生産性の向上等、組織の活性化に取り組んでいる		●		・特に工場勤務者において、夏季の労働時間短縮制度を設けることで、疲れが出やすい時期に体調を整え業務に臨めるような体制を整えている(給与に影響なく、サマータイム制でもなく、通常8時間労働のところを1時間早く切り上げて7時間労働にする)。								8.5 8.8									
9		**【人材育成】** ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している		●		・職務や役割に応じ、内外の研修受講の機会を設けている。 （実例：伐木等の業務に係る教育、バンブーエキスパート講座、インボイス制度）				4.3 4.4 4.5	5.5			8.5 8.8		10.2 10.3							
10		**【女性の活躍推進】** ・女性の活躍を推進するための取組を行っている		●		・性別に関わらず誰にとってもやりがいをもって働きやすい組織体制を整えるための取組を行っている。女性については、役職を作るための社内体制を強化中。					5.c					10.2 10.3							
11		**【公正な待遇】** ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている		●	×																		
12		**【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】** ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により、業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる		●		・自社工場の一部において機材をIOT化した。これまでのアナログ管理から安定的な稼働にすることで、品質の標準化、業務の効率化を図った。								8.2									
13		**【廃棄物】** ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	●			・廃液、廃熱、廃水、排気のオールカスケード利用により、廃棄物の出ない仕組みを確立している。											11.6	12.4 12.5					
14		**【エネルギー】** ・自らの事業所のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●			・自社のエネルギー使用量を把握し、必要に応じて省エネ診断の検討を行っている。							7.3 7.a										
15		**【温室効果ガス】** ・自らの事業所の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	●			・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、必要に応じて省エネ診断の検討を行っている。							7.3		9.4				13.2				
16		**【有害化学物質】** ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	●			・自社の生産するすべての商品で化学物質を一切使用していない。 ・社内、工場全てにおいて化学物質を一切使用していない。			3.9			6.3						12.4					

（様式第2号）

SDGs達成に向けた具体的な取組チェックシート

記載日： 2024 年 5 月 14 日

事業者名	エシカルバンブー株式会社

	分類	チェック項目	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	非該当	具体的な取組（事業者が記載する欄） ※国、市町村等の認証・認定等取得している場合は、その旨も記載してください。	主なSDGs（17のゴール及びターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
17	環境	**【生物多様性】** ・自らの事業所の活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	●			・環境保全や生物多様性保全を目的とした竹林整備を行い、その材を活用した製品を生み出している。						6.3					11.6	12.4			15.1		
18	環境	**【3Rの推進】** ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	●			・竹洗剤の量り売りを実施し、リデュース、リユース、リサイクルの全てを推進している。									9.4			12.2 12.4 12.5 12.8					
19	環境	**【水の管理】** ・自らの事業所の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている		●		・自社の水利用状況を把握し、適切な使用量となるよう努めている。						6.4						12.2					
20	環境	**【環境マネジメントシステム】** ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している		●	×																		
21	環境	**【環境情報開示】** ・自らの事業所の環境の取組に関する情報を収集し、開示している		●		・【予定】ホームページ等への環境情報開示ページの設置の実施。												12.6 12.8					
22	環境	**【再生可能エネルギーの利用】** ・再生可能エネルギーの利用を進めている		●		・竹を活用した再生可能エネルギーの利用を促進している							7.2										
23	環境	**【天然資源の持続的利用】** ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている		●		・国産竹パルプ100%のカレンダーや名刺を利用するなどしている。 ・環境への負荷に対する竹の需給バランス計算し、環境保全の観点から不要となる竹のみを計画的に伐採している。												12.2 12.5			15.1 15.2 15.4		
24	環境	**【食品ロスの削減】** ・食品ロスの削減に取り組んでいる		●	×																		
25	環境	**【海洋ごみ】** ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用を減らすなど、海洋ごみ削減、海洋汚染の防止に貢献している		●	×																		
26	環境	**【環境に配慮した交通手段】** ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車、水素自動車などの環境にやさしい自動車の利用を促進している		●		・車通勤の距離でも、率先して自転車で通勤する社員がいるなど環境を意識した個々の取り組みが見られる。											11.2 11.6						
27	公正な事業慣行	**【汚職・贈収賄防止】** ・汚職や贈収賄を禁止する方針を掲げ、従業員に教育している	●			・社内研修等を実施し、社長自らが積極的に従業員への教育をおこなっている。																16.5	
28	公正な事業慣行	**【公正な競争】** ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、従業員に教育している	●			・社内研修等を実施し、社長自らが積極的に従業員への教育をおこなっている。																16.5 16.6	
29	公正な事業慣行	**【知的財産保護】** ・知的財産を保護するよう、適切な取組を進めている	●			・特許、商標等知的財産権を取得し、管理している。								8.3	9.2 9.4			12.2					
30	公正な事業慣行	**【個人情報保護】** ・個人情報を適切に管理し、その取扱いについて従業員に教育している。	●			・社内研修等を実施し、情報管理のルール確認などを行っている。																16.10	
31	公正な事業慣行	**【サプライチェーン管理】** ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している		●		・契約締結時の契約書の条項に当該内容を盛り込んでいる。	1.5							8.7		10.2 10.3						16.1 16.2 16.3 16.4	

（様式第2号）

SDGs達成に向けた具体的な取組チェックシート

記載日： 2024 年 5 月 14 日

事業者名	エシカルバンブー株式会社

	分類	チェック項目	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	非該当	具体的な取組（事業者が記載する欄） ※国、市町村等の認証・認定等取得している場合は、その旨も記載してください。	主なSDGs（17のゴール及びターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	製品・サービス	**【製品・サービスの安全性】** ・自らの事業所の製品やサービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	●			・製品使用時に想定されるリスクを洗い出し、対策を実施している。 ・製品安全確保の観点を踏まえた取扱説明書を作成している。									9.1			12.2 12.8					
33	製品・サービス	**【品質保証】** ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	●			・顧客からの問い合わせ対応など、品質を保証する仕組みを構築している。 ・顧客の声を社内共有するための仕組みづくりを実施している。 ・社内検査に留まらず、外部機関での検査を実施する仕組みを確立している。									9.1			12.4 12.5					17.17
34	製品・サービス	**【ユニバーサルデザイン】** ・障害者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている	●			・実店舗、ECショップ以外に電話注文やFAX注文にも対応するなど、様々な立場の方への購入環境に配慮している。 ・使用する資料や会社案内表示(POP)等に誰もが理解しやすいピクトグラムを使用するよう心がけている。									9.1			12.8					
35	製品・サービス	**【環境配慮製品】** ・環境に配慮した製品の開発、設計を進めている		●		・オールカスケード利用により、廃液、廃熱、廃水、排気の出ない仕組みを確立している。												12.2 12.4 12.5					
36	製品・サービス	**【社会課題解決製品・サービス】** ・社会課題を解決する製品やサービスの開発、展開を進めている		●		・放置竹林を整備し、竹害を竹財に変える製品を生み出している。 ・働きづらい人に働く機会を提供している（受刑者の雇用促進を目指し美祢社会復帰センターでの竹製品の製造を開始）。								8.2 8.3 8.6	9.2 9.4	10.2 10.3	11.a	12.2 12.5 12.8			15.2		17.17
37	社会・地域貢献	**【地域への影響に対する配慮】** ・自らの事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	●			・2023年度山口県、宇部市、美祢市と連携し、山口県の森林環境の保全及び産業の振興に向けた取組を進める竹利活用プラットフォーム「YAMAGUCHI Bamboo Mission」を創設した。 ・地域小学校、地域団体と連携する(訓練やイベント)など、密なコミュニケーションを図っている。	1.5							8.2 8.3 8.6 8.9	9.2 9.4	10.2	11.a	12.2 12.4 12.7			15.2 15.4 15.6	16.5 16.6 16.7	17.17
38	社会・地域貢献	**【社会貢献活動・地域への参画】** ・寄付、ボランティア、地域団体への支援、地域コミュニティの活性化等の活動に積極的に取り組んでいる		●		・竹の利活用総合施設「竹ラボ」を設立し、“竹で地域を元気にする”をコンセプトに竹に関連する事業の立ち上げ支援や、竹にまつわる情報を発信、イベントの開催を通して県内外からの集客にも積極的に取り組んでいる。 ・山口県の環境アプリ「ぶちエコ」アプリの環境スポットに竹LABOを登録、また、応援企業として自社製品の無償提供を行っている。				4.3 4.5 4.7							11.6 11.a	12.7 12.8				16.7	17.17
39	社会・地域貢献	**【地域資源の積極的利用】** ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商等）を行っている		●		・山口県の放置竹林を整備し、その竹を活用した製品づくりを進めることで地産地消の促進に取り組んでいる。								8.9	9.2 9.4		11.3 11.a	12.2 12.4 12.5			15.2 15.4 15.6		17.14 17.17
40	組織体制	**【法令遵守】** ・法令遵守の考え方が事業者内に十分浸透し、法令遵守が確実に行われるよう、体制や仕組みが整備されている	●			・有識者とアドバイザー契約をしている ・リスクマネジメント研修を設ける等、常に法令を遵守する体制を整えている																16.3 16.6	
41	組織体制	**【内部管理体制】** ・経営理念や経営目標の事業所内への共有が行われている	●			・経営理念を明文化し、朝礼で唱和している。 ・経営者が理念を持ち、年頭のほか、適時、経営理念、経営目標を社員に説明し、共有している。								8.5 8.8	9.2 9.4			12.2 12.4 12.5			15.1		17.14 17.17
42	組織体制	**【組織体制】** ・自らの事業所の活動が社会、環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	●			・内容によって対応する担当がいる												12.8				16.7	17.17
43	組織体制	**【リスクマネジメント】** ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている		●	×																		
44	組織体制	**【事業所の社会的責任】** ・自らの事業所の活動が社会、環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている		●		・竹の総合施設 竹ラボを運営管理し、竹の竹財としての力を発信するとともに見学者に学習の機会を提供している。 ・山口県の環境アプリ「ぶちエコ」アプリの環境スポットに竹LABOを登録、また、応援企業として自社製品の無償提供を行っている。																16.6 16.7	17.17
45	組織体制	**【ステークホルダーとの対話】** ・ステークホルダーと対話し、自らの活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している		●		・代表自ら適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、具体的な対応に努めている。																16.6 16.7	17.17

（様式第2号）

SDGs達成に向けた具体的な取組チェックシート

記載日： 2024 年 5 月 14 日

事業者名	エシカルバンブー株式会社

	分類	チェック項目	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	非該当	具体的な取組（事業者が記載する欄） ※国、市町村等の認証・認定等取得している場合は、その旨も記載してください。	主なSDGs（17のゴール及びターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
46		【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している		●		・事業継続計画(BCP)の策定、他事業所のオペレーション状況把握・マニュアルの策定・共有に取り組んでいる。									9.1 9.4			12.2 12.4 12.5	13.1				
47		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●		・事業継承に関連する知財管理、体制整備を行っている。									9.2								
48	持続可能な社会・共創による取組	【SDGsの普及啓発・理解促進】 ・SDGsについて事業者内部に浸透させるとともに、社会課題解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている	●			・環境に関わる事業者として、事業内容そのものや、全体会議・朝礼等で日々共有している想い、ポリシー自体が既に環境・社会課題に対する意識、行動の表れであり、国連で定めたSDGsの内容に沿ったものになっている。												12.8					17.17
49		【連携・共創】 市の「共創の指針」を理解し、自社の経営に関係ある・なしに関わらず、何らかのまちづくり活動に対し、多様な主体と連携し参加している	●			・産官学で連携し、エシカルなものづくりを実現している（環境循環型製造工場）。 ・様々な業種を巻き込み、YAMAGUCHI Bamboo Missionを推進。																	17.17
50		【ESD（持続可能な開発のための教育）の推進】 ・事業者内部または外部で持続可能な社会の担い手を育成する取組を行っている		●		・地域の小学生や県外の大学生を竹ラボに招き（または依頼を受け）、見学ツアーを実施したり学習の機会を提供したりしている。				4.3 4.7								12.8					17.17
51		【若者等の地元定着】 ・若者等の地元就職やUIJターン就職を促進する取組を行っている		●		・みらいwalkers★UBEに出展した(令和4年度。令和5年度は日程が合わず見送り) ・県内高校生の実習を受け入れている。 (実績：2023年　竹ラボで1名，防府本社で2名。 2024年　本社で1名(済)。6月にもう1名予定)				4.3 4.4 4.5				8.5 8.6 8.8		10.2							17.17

上記以外で設定した取組項目（独自に設定したSDGsに資する取組は、取組レベル「チャレンジ」としてカウントします）

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」項目のすべてに「具体的な取組」が記載され、かつ、3つ以上の「チャレンジ」項目に「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。
　また、「独自に設定したSDGsに資する取組」を記載した際は、「チャレンジ」項目としてカウントします。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。（今後、取り組む予定のものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
　（※SDGsフレンズ登録、宇部市地域活動応援事業者認定制度、宇部市女性活躍推進企業認定制度、地域であんしん見守り愛ネット事業協力事業者、宇部市ごみ減量等流量事業所認定制度、宇部市健康づくりパートナー など）
・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に「×」を選択し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。